

# 第5学年 算数科 1 整数と小数のしくみを調べよう (整数と小数)

## ○整数と小数 第1時 教科書P. 8～10 (解答編)

学習を始める前の準備と注意です。

- ・教科書P. 8、P. 9、P. 10を見ながら、このプリントを使って学習を進めます。

まず、教科書P. 8を見ながら、復習です。

**復習** 3.75という数は、どんな数といえるか、□の中に当てはまる数を入れましょう。

あみ…3.75は、3と0.75をあわせた数です。  $3.75 = 3 + \boxed{0.75}$

こうた…3.75は、3.8より  $\boxed{0.05}$  小さい数です。  $3.75 = 3 - \boxed{0.05}$

はると…3.75は、1を  $\boxed{3}$  こ、0.1を  $\boxed{7}$  こ、0.01を  $\boxed{5}$  こあわせた数です。

りく…3.75は、0.01を  $\boxed{375}$  こ集めた数です。

しほ…位取りの表を使って表すと、

(下の表の一の位を参考にして、1/10の位と1/100の位に●を書き込んでみよう。)

● ● ●	● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ●
一の位	$\frac{1}{10}$ の位	$\frac{1}{100}$ の位
3	7	5

このように、私たちは、4年生の学習で、一つの小数には、いろいろな見方があることを通して、小数のしくみについて学習してきました。同じように、整数のしくみについてもすでに学習しています。

そこで、この単元の学習では、整数と小数のしくみの関係についてまとめてみましょう。

それでは、ここから5年生の学習をスタートします。

•ここから教科書P.9を見て学習を進めます。

**1 整数 2135 と、小数 2.135 を比べましょう。**

(1)前のページのしほさんを参考にして、下の位取りの表に●を書き入れて、それぞれの数を表そう。

**2135**

● ●	●	● ● ●	● ● ● ●			
千の位	百の位	十の位	一の位	$\frac{1}{10}$ の位	$\frac{1}{100}$ の位	$\frac{1}{1000}$ の位
2	1	⑦ 3	5			

**2.315**

			● ●	●	● ● ●	● ● ● ●
千の位	百の位	十の位	一の位	$\frac{1}{10}$ の位	$\frac{1}{100}$ の位	$\frac{1}{1000}$ の位
			2	1	① 3	5

(2)⑦の3は、どんな数が何こあることを表していますか。また、①の3は、どうですか。

⑦の3→ 10が3こ を表している。

①の3→ 0.01が3こ を表している。

数字は同じけど、**位の位置**で数の大きさがちがう。

用語チェック

•ここから教科書P.10を見て学習を進めます。

(3) 2.135と2135について、□に当てはまる数字を書きましょう。

1が	□2	こ・・・2
0.1が	□1	こ・・・0.1
0.01が	□3	こ・・・0.03
0.001が	□5	こ・・・0.005
		あわせて 2.135

1000が	□2	こ・・・2000
100が	□1	こ・・・100
10が	□3	こ・・・30
1が	□5	こ・・・5
		あわせて 2135

(4) □に当てはまる数字を書いて、2.135という数のしくみを式に表しましょう。

$$2.135 = 1 \times \square 2 + 0.1 \times \square 1 + 0.01 \times \square 3 + 0.001 \times \square 5$$

$$\ast 2135 = 1000 \times \square 2 + 100 \times \square 1 + 10 \times \square 3 + 1 \times \square 5$$

**表現を覚えよう!**

上のような式で数を表すとき、「数のしくみを式に表す」という。

(1)~(4)のことから、数のしくみについて考えて、まとめよう!

※はじめに、P.10を見ないで、□に当てはまる数字や言葉を考えよう。

**まとめ**

整数や小数では、□0 から □9 の数字が書かれた位置によって、何の □位 かが決まる。

また、それぞれの数字は、その位の数が、何個あるかを表している。

このしくみは、整数も小数も □同じ □ である。

■練習 ① □にあてはまる数字を書きましょう。

$$7.608 = 1 \times \square 7 + 0.1 \times \square 6 + 0.01 \times \square 0 + 0.001 \times \square 8$$

② □にあてはまる不等号を書きましょう。

①  $0.1 \square > 0$     ②  $2.967 \square < 3$     ③  $3 \square > 3.15 - 1.5$